

# 一般社団法人鳥取県介護福祉士会

## 令和5年度 事業報告書

### 1 会務運営

---

#### (1) 定時社員総会

期 日 5月20日(土) 午後2時～午後2時40分  
会 場 県立福祉人材研修センター 中研修室(鳥取市伏野1729-5)  
出席者 代議員53名(委任状45名含む) / 64名

#### (2) 理事会

第1回 5月20日(土) 午後1時～午後1時45分  
会 場 県立福祉人材研修センター 中研修室(鳥取市伏野1729-5)  
出席者 理事14名 / 19名、監事2名、事務局3名

第2回 7月27日(木) 午前11時～午前12時  
形 式 オンライン  
出席者 理事10名 / 19名、事務局2名

第3回 11月17日(金) 午前10時～午前12時  
形 式 オンライン  
出席者 理事14名 / 19名、監事2名、事務局2名

第4回 3月15日(金) 午前10時30分～午前12時  
形 式 オンライン  
出席者 理事14名 / 19名、監事2名、事務局3名

#### (3) 監事会

期 日 4月14日(金) 午後1時30分～午後2時30分  
会 場 県立福祉人材研修センター 第2小研修室(鳥取市伏野1729-5)  
出席者 監事2名、事務局3名

### 2 組織強化

---

組織の充実を図るため、未加入者に対し積極的な加入促進を行う。

- (1) 資料提供
- (2) 日本介護福祉士会加入会員の募集  
施設別、地区ごとによる勧誘
- (3) 専門学校等への働きかけ  
鳥取社会福祉専門学校への入会促進  
YMCA 医療福祉専門学校への入会促進(2月6日)
- (4) 新規会員加入促進キャンペーンの実施(期間: 4月1日から11月30日)

令和6年3月31日時点 会員数 581名 賛助会員数 3団体

### 3 調査・研究事業の実施

---

介護福祉士の実態を明らかにし、安心して働き続けるための対策を考え、必要な調査及び研究を実施する。

- (1) 6月「新型コロナウイルス感染症流行時の働き方と気持ちの変化に関する調査」報告書配布
- (2) 11月12日(日)第21回日本介護学会(水戸市民会館) 口頭発表
- (3) 2月24日(土)第17回鳥取県福祉研究学会(鳥取看護大学・鳥取短期大学) 口頭発表

### 4 事業の推進

---

会員の資質の向上を図るため、研修会等により専門家の指導を受けるとともに会員相互の研修を推進する。

- (1) 日本介護福祉士会研修等

- ①リーダー研修

【前期】期 日 10月18日(水)、26日(木)、29日(日)

形 式 オンライン研修

参加者 米山直己、馬野浩二

【後期】\*前期日程受講者のみ参加可

<基本研修講師養成研修>

期 日 1月12日(金)、16日(火)、26日(金)

形 式 オンライン研修

参加者 米山直己

<ファーストステップ研修講師養成研修>

期 日 2月16日(金)、23日(金)、24日(土)

形 式 オンライン研修

参加者 馬野浩二

- ②介護職種の技能実習指導員講習講師養成研修

期 日 7月28日(金)

形 式 オンライン研修

参加者 新川理事

- ③第30回日本介護福祉士会全国大会、第21回日本介護学会 in いばらき

期 日 11月11日(土)、12日(日)

会 場 水戸市民会館

参加者 5名

- ④中四国ブロック大会・タウンミーティング in しまね

期 日 1月13日(土) 午後1時~午後5時40分

形 式 オンライン開催(※鳥取県は参加型)

参加者 13名

- (2) 県内研修会

- ①鳥取県介護福祉士会研究発表大会

期 日 12月2日(土) 午後1時00分~午後3時30分

形 式 集合+オンライン(Zoom)のハイブリッド

会 場 県立福祉人材研修センター 中研修室

発表数 3題

参加者 18名（助言者2、係員6含む）

②介護福祉士基本研修

期 日 6月21日（水）6月22日（木）6月27日（火）6月28日（水）

会 場 倉吉体育文化会館 大研修室、小研修室2

講 師 新川理事、山根副会長 横田直美

申込者 9名

修了者 9名

係 員 松村副会長、以後副会長、村田理事

③ファーストステップ研修会

※8/8、8/9、9/20はオンライン(ZOOM)開催

領域	受講日・会場	時間数	受講科目	担当講師	参加人数	係員
I「ケア」領域	6月1日(木) 倉吉未来中心 セミナールーム2		受付			
			オリエンテーション			
		7	1 利用者の全人性・尊厳の実践的理解と展開	鳥取社会福祉専門学校 教員 花原伸子	9	大塚会長
	6月26日(月) 倉吉体育文化会館 小研修室2		受付			
		7	2 介護職の倫理の実践的理解と展開	鳥取社会福祉専門学校 教員 花原伸子	9	山根副会長
	7月4日(火) 倉吉体育文化会館 小研修室2		受付			
		7	3 コミュニケーション技術の応用的な展開①	OFFICE IMAGINE 代表 林原豊	8	西尾理事
	7月5日(水) 倉吉体育文化会館 中研修室		受付			
		7	4 コミュニケーション技術の応用的な展開②	OFFICE IMAGINE 代表 林原豊	7	西尾理事
	7月25日(火) 倉吉未来中心 セミナールーム2		受付			
	7	5 認知症の理解	OFFICE IMAGINE 代表 林原豊	9	山根副会長	
8月8日(火) オンライン 倉吉未来中心 セミナールーム2		受付				
	7	6 ケア場面での気づきと助言①	NPO 法人ホットスペース中原 代表 佐々木炎	9	岡垣理事	
8月9日(水) オンライン 倉吉未来中心 セミナールーム2		受付				
	7	7 ケア場面での気づきと助言②	NPO 法人ホットスペース中原 代表 佐々木炎	9	岡垣理事	
II「連携」領域	8月31日(木) 倉吉未来中心 セミナールーム2		受付			
		7	8 家族や地域支援力の活用と強化	医療法人真誠会 法人本部 山根 賢一	9	柿田 修
	9月20日(水) オンライン 倉吉未来中心 セミナールーム2		受付			
	7	9 職種間連携の実践的展開	島根県介護福祉士会 会長 山本克哉	8	細川昌寛 花原理事	
10月5日(木) 倉吉体育文化会館 小研修室2		受付				
	7	10 観察・記録の的確性とチームケアへの展開	地域ケアセンターマグノリア 施設長 梶本由香	9	藤原紀子	
運営 基	10月17日(火) 倉吉体育文化会館 中研修室		受付			
		7	11 チームのまとめ役としてのリーダーシップ	OFFICE IMAGINE 代表 林原豊	10	柿田 修

倉吉体育文化会館 小研修室2	11月2日(木)		受付		
	7	12 セーフティマネジメン ト	小規模特別養護老人ホ ームきたやま 施設長 岡垣一樹	9	本池宏明
	11月16日(木)		受付		
	7	13 問題解決のための思 考法	地域ケアセンターマグノ リア 施設長 梶本由香	9	下田理事
	11月29日(水)		受付		
	7	14 介護職員の健康・ス トレスの管理	介護老人保健施設ル・サン テリオン北条 岩床淳弘	9	大塚会長
倉吉体育文化会館 小研修室2	12月15日(金)		受付		
	7	15 自職場の分析	鳥取社会福祉専門学校 教員 花原伸子	9	松村副会長
倉吉体育文化会館 小研修室2	1月24日(水)		受付		
	7	16 自職場の分析／総 合学習	鳥取社会福祉専門学校 教員 花原伸子	7	大塚会長
合 計	112				

修了者 6名

④介護福祉士養成実習施設実習指導者研修

期 日 10月18日(水)、10月19日(木)、11月6日(月)、11月7日(火)

会 場 倉吉体育文化会館 中研修室

講 師 山根副会長、林原理事、吉岡宏

申込者 33名

修了者 35名(内4名、昨年度繰越者)

係 員 徳岡理事、新川理事

⑤介護職種の技能実習指導員講習

期 日 11月30日(木) 午前9時30分～午後5時45分

会 場 倉吉体育文化会館 小研修室2

講 師 井殿理事、西村理事、森脇理事

申込者 12名

修了者 12名

係 員 新川理事

⑥介護未来人材講師養成研修 【共同募金助成事業】

【1日目】

期 日 10月31日(火) 午前10時～午後5時

形 式 オンライン研修

講 師 菊池健志 氏、ファシリテーター 花原理事

参加者 7名

【2日目】

期 日 12月22日(金) 午前9時30分～午後6時

会 場 県立福祉人材研修センター 中研修室

講 師 菊池健志 氏、ファシリテーター 花原理事

参加者 4名

⑦「介護過程の展開」継続研修

期 日 8月23日(水)、9月20日(水)、10月19日(木)、11月22日(水)、  
12月20日(水)、1月18日(木)  
会 場 倉吉体育文化会館、倉吉未来中心  
講 師 林原理事  
申込者 16名  
修了者 12名  
係 員 藤原陽子

## 5 地区活動事業の実施

---

(1) 地区活動

①中部地区交流会

期 日 1月17日(水)  
会 場 ラパラ(倉吉市山根)  
参加者 11名

(2) 青年部会「UP!」

- ①中国四国ブロック研修会への参加 6名
- ②とっとり介護フェア2023への協力(介護のイメージ変革プロジェクト実行委員会主催)
- ③介護の出前講座への講師派遣(県社協主催)

## 6 介護のイメージ変革プロジェクト実行委員会の事務局運営

---

(1) とっとり介護フォトコンテスト事業

募集期間 9月1日(金)～10月6日(金)  
応募総数 18作品  
審査会 10月13日(金)午後2時～午後3時 大塚会長、花原理事  
最優秀賞1作品、優秀賞2作品を審査・承認  
・当会HPにて受賞作品公開  
・フォトコンテスト優秀作品を活用した魅力発信ポスターの配布

(2) とっとり介護フェア2023開催事業

期 日 11月4日(土) 午後1時～午後4時  
会 場 県立福祉人材研修センター ホール  
内 容 ステージ(午後1時30分～)  
鳥取東高校書道パフォーマンス、介護食コンテスト・表彰式、  
高校生×介護男子・介護女子トークショー、高校生等によるステージ  
パフォーマンス、フォトコンテスト表彰式  
ブース等(午後1時～)  
eスポーツ体験、野菜・パン販売、紙折ワークショップ、電動車いす体験、  
介護用品実験、介護食試食、ICT機器展示、ほっとカフェ、ふるまい鍋「豚汁」、  
キッチンカー2台  
参加者 約200人

## 7 相談活動の展開

---

介護福祉士としての専門知識・技術を生かし、各種事業と連携して相談活動を展開

## 8 広報活動の展開

---

介護に関する情報の提供と会員の連携を図る

- (1) 機関紙の発行（年2回） 第20号発行（10月） 第21号発行（3月）
- (2) ホームページの運営（9月21日リニューアル）

## 9 全国一斉模擬試験の実施

---

介護福祉士の国家試験の受験予定者への受験対策として、模擬試験を実施。

- (1) 介護福祉士国家試験全国一斉模擬試験（一般、養成校）

### 【一般】

期 日 11月19日（日）  
会 場 倉吉体育文化会館  
受験者 17名  
係 員 西村理事、新川理事

### 【養成校】

期 日 1月4日（木）  
会 場 鳥取社会福祉専門学校  
受験者 28名

## 10 連絡調整、他団体等への協力

---

福祉、保健、医療等関係団体等との連絡並びに調整を行う。

- (1) 関係機関、種別協議会等との連絡調整

- ・名義後援 令和5年度鳥取県災害派遣福祉チーム員の養成等に係る研修（県社協）  
介護教員講習会（（一社）職業教育研究開発推進機構）  
YMCA 公開講座（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
介護福祉機器展 in 鳥取 2023  
（（一社）日本福祉用具供給協会中国支部鳥取ブロック）  
認知症重度化予防実践塾（日本認知症グループホーム協会鳥取県支部）

- (2) 日本介護福祉士会、中国・四国ブロックとの連絡調整

- ・日本介護福祉士会定時総会  
5月27日（土）オンライン
- ・都道府県会長会議（4回）  
6月15日（木）・16日（金）ハイブリッド 東京都  
9月15日（金）、12月15日（金）、3月15日（金）オンライン
- ・中国・四国ブロック会長会議  
6月16日（金）ハイブリッド 東京都
- ・都道府県事務局会議（4回）オンライン  
6月20日（火）、9月20日（水）、12月20日（水）、3月21日（木）

(3) 鳥取県災害時福祉支援活動への協力

- ・鳥取県災害派遣福祉チーム (DWAT) 登録促進
- ・チーム員養成研修 (基礎研修、スキルアップ研修等) への参加
- ・DWAT 関係団体意見交換会への参加
- ・鳥取県 DWAT 「令和 6 年能登半島地震」支援

派遣先: 1. 5 次避難所「いしかわ総合スポーツセンター」

派遣者並びに派遣期間 (移動日含む)

藤原理事: 2 月 2 日 (金) ~ 2 月 7 日 (水)

徳岡理事: 2 月 3 日 (土) ~ 2 月 8 日 (木)

三橋監事: 2 月 11 日 (日) ~ 2 月 16 日 (金)

岡本善寛: 3 月 9 日 (土) ~ 3 月 14 日 (木)

(4) 他団体等への協力

① 講師派遣

- ・鳥取社会福祉専門学校「介護概論Ⅱ (災害時における生活支援)」  
5 月 30 日 (火) (講師: 村田理事)
- ・鳥取県立歯科衛生専門学校「介護技術学」  
6 月 27 日 (火)、7 月 4 日 (火) (講師: 谷岡嘉高、細川昌寛)
- ・シルバー人材センター連合会「介護補助講習」  
西部会場 10 月 18 日 (水)、19 日 (木)  
(講師: 山下剛志・山田千佳)
- ・鳥取県母子寡婦福祉連合会「家庭生活支援員養成研修会」  
東部会場 10 月 19 日 (木) (講師: 藤田亜矢)  
西部会場 2 月 24 日 (土) (講師: 小林理事)
- ・鳥取環境大学「特別支援教育の理論と実践」  
11 月 22 日 (水) (講師: 谷口亮介)
- ・琴浦町社会福祉協議会「認知症ケアについて」  
3 月 6 日 (水) (講師: 林原理事)
- ・鳥取県社会福祉協議会

○介護の入門的研修

- ・東部会場 県立福祉人材研修センター 修了者 21 名  
7 月 25 日 (火)、8 月 1 日 (火) 8 月 8 日 (火)、8 月 17 日 (木)、8 月 18 日 (金)  
(講師: 以後副会長、岡垣理事、寺嶋みゆき、米山直己、細川昌寛)
- ・中部会場 倉吉未来中心、上灘公民館 修了者 13 名  
9 月 2 日 (土)、9 月 9 日 (土)、9 月 16 日 (土)、9 月 23 日 (土)、9 月 24 日 (日)  
(講師: 松村副会長、小林理事、米原監事、倉繁結紀彦、尾古昌之、塩谷信彦)
- ・西部会場 米子市文化ホール 修了者 23 名  
7 月 8 日 (土)、7 月 15 日 (土)、7 月 22 日 (土)、7 月 29 日 (土)、  
7 月 30 日 (日)  
(講師: 山根副会長、藤原理事、八幡孝明、亀谷宏明、吉岡宏、馬野浩次)

○介護の出前講座

- ・6 月 25 日 (日) 倉吉市社会協議会「ボランティアフェスティバル」  
(松村副会長・米原監事)
- ・7 月 13 日 (木) 米子市立尚徳中学校 2 年生 80 名 (澤田樹里、野口翔大)

- ・ 10月12日（木） 倉吉東高校定時制3年生 4名 （新川理事）
- ・ 1月16日（火） 鳥取湖陵高校 3年生 12名 （岡垣理事）
- ・ 2月7日（水） 鳥取湖陵高校 1年生 34名 （岡垣理事）
- ・ 2月14日（水） 境港市中学校PTA 30名 （大塚会長、吉岡宏）

② 各種委員会等への参加・参画

委員会名	委員名	任期
第9期介護保険事業支援計画・老人福祉計画策定・推進委員	大塚一史	令和5年4月12日～ 令和8年3月31日
介護施設+safe協議会	大塚一史	
ねんりんピック鳥取2024実行委員会委員	大塚一史	令和4年8月1日～
鳥取県福祉のまちづくり推進協議会委員	以後樹子	令和5年7月2日～ 令和7年7月1日
鳥取県介護保険審査会専門調査員	以後樹子 山根賢一	令和4年8月29日～ 令和7年3月31日
鳥取県医療審議会委員	松村絹子	令和4年10月17日～ 令和6年10月16日
東部地区在宅医療介護連携推進協議会委員	以後樹子	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日
鳥取県中部介護認定審査会委員	松村絹子 米原孝由紀	令和5年4月1日～ 令和8年3月31日
鳥取県社会福祉協議会評議員	大塚一史	令和4年6月28日～ 令和7年度定時評議員会
鳥取県福祉研究学会理事	以後樹子	令和5年7月1日～ 令和7年6月30日

## 11 各委員会

○事業委員会

鳥取県介護福祉士会事業計画の作成、各研修会の企画・運営

○調査研究委員会

6月「新型コロナウイルス感染症流行時の働き方と気持ちの変化に関する調査」報告書配布  
 11月12日（日）第21回日本介護学会(水戸市民会館) 口頭発表  
 2月24日（土）第17回鳥取県福祉研究学会(鳥取看護大学・鳥取短期大学) 口頭発表

○広報委員会

会報「とっとり介護福祉士だより」の発行 第20号（10月発行）、  
 第21号（3月発行）  
 ホームページの運営（9月21日リニューアル）

○倫理委員会

調査研修委員会への協力



○災害対策委員会

鳥取県災害派遣福祉チーム（DWA T）活動への協力

○選挙管理委員会

3月8日（金）第1回選挙管理委員会

## 12 要望活動

(1) 令和6年度に向けた鳥取県社会福祉制度・予算等に係る県への要望（県社協、福祉団体合同）

①介護人材が不足する中で、将来、介護を職業として選択してもらえるように、小中学生及び高校生に介護教室等で介護の魅力を伝える機会を教育委員会等にも紹介していただきたい。

②介護人材不足の中、介護職員の処遇改善の施策を講じて頂いておりますが、いまだに全産業との格差があるためより一層の処遇改善を国に対して働きかけをお願いしたい。

【県議会議長要望】

期日：9月12日（火） 会場：鳥取市・県庁 出席者：山根副会長

【県担当部局との意見交換会】

期日：10月23日（月） 会場：鳥取市・県庁 出席者：大塚会長

【県からの回答】

① <小中学生>

中学校学習指導要領【技術・家庭】において、家庭生活は地域との相互の関わりで成り立ち、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について学習することが示されており、各学校で学習指導要領に沿った指導が行われています。また、キャリア教育においてコロナ禍以前に行われていた、ゲストティーチャーとして介護福祉士を学校に招聘して話を聞いたり、職場体験学習において介護施設での体験学習を行う取組が、今年度から徐々に再開されています。

県では、地元の身近な企業の魅力を知ることができ、中学校での職場体験に向けての学習や小学校での職業調べの学習で活用できる、県内の企業等292社を掲載した「ふるさと鳥取企業読本」を作成、配布しています。索引では「医療・福祉」の地元企業が検索できるようになっており、引き続き、本冊子の活用を促していきます。また、来年度より、「鳥取県統合型教育ポータルサイト」を開設予定で本冊子の内容をデータとして活用できるよう準備を進めているところです。サイトでは、「好き・興味から探す」「業種から探す」など児童生徒の興味関心に基づいた検索ができるよう調整しており、一人一台端末等を用いてより容易に福祉や介護の仕事について調べられるようになります。

<高校生>

高等学校学習指導要領【家庭】において、高齢期の生活や高齢者との関わりについて、高齢期の心身の特徴や高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援について理解することが示されており、各学校で学習指導要領に沿った指導が行われています。

また、高校生が、地域や福祉施設等での活動に積極的に参加し、社会の一員としての自覚を深めることを目的とした「鳥取県福祉ヘルプメイト制度」を推進する等、福祉に係る教育内容の充実に向けて取り組んでいます。

県が進めるふるさとキャリア教育においても、老人福祉施設や福祉系大学の方を学校に招聘して講演会や企業見学の実施、インターンシップ先として介護施設と連携している学

校もありますので、今後、鳥取県介護福祉士会からの学校現場への講師派遣について、各学校へ周知を図っていきます。

- ② 令和3年度の国補正予算において、介護職員の収入の引上げのため、介護職員の収入を3%程度引き上げるための処遇改善支援補助金が創設され、令和4年10月の介護報酬改定において、同補助金を引き継ぐ形で「介護職員等ベースアップ等支援加算」が新設されたところです。県としても、従来の処遇改善加算等を含む各加算が、幅広く介護事業所で活用されるように支援を継続していきます。また、国に対しては、近年の光熱水費、食糧費等の物価高騰の影響や民間企業において行われている賃金のベースアップも考慮し、事業所の規模、職種に関わらず職員の処遇の改善につながる介護報酬の見直しを含めた制度設計を強力に進めるよう要望しています。

## (2) 日本介護福祉士会等との連携による要望

- ①物価・賃金高騰対策に関する要望書（自由民主党政務調査会社会保障制度調査会へ提出）
- ②物価高騰対策および介護現場で勤務する職員の処遇改善に関する緊急要望（自由民主党副総裁、内閣総理大臣、自由民主党政調会長へ提出）